

令和7年度事業計画

I 令和7年度の事業概要

1 事業概要

- ・ 令和7年度については、引き続き3つの事業の柱※にK-RIPの原点である「マッチング・交流の場の提供」に関する活動を一層加味して事業を推進するとともに、次の四半世紀に向けた第一歩として、新たに大学生との交流事業に挑戦することにより、会員企業の新事業創出を支援し、九州を環境エネルギー産業等の先導的地域とすることに貢献する。

※1 メディアミクスによる情報発信事業

2 情報提供&マッチング事業

3 ASEAN 交流事業

- ・ 「1 メディアミクスによる情報発信事業」については、ホームページやメルマガ配信を活用し、K-RIP 各種事業の紹介・募集や、国の環境エネルギー政策・補助制度の紹介、他団体のセミナー・イベントの案内等の情報発信を引き続き実施する。また、YouTube の「K-RIP World Channel」にベトナム語やインドネシア語、中国語による会員企業の事業紹介動画を掲載し、現地企業とのオンライン商談等に活用するとともに、エコ塾のアーカイブ配信等への YouTube の活用を検討する。
- ・ 「2 情報提供&マッチング事業」については、会員企業からのご相談・マッチングへの対応をはじめ、グリーントランスフォーメーションやサーキュラーエコノミー等の最新動向等を紹介する「エコ塾」「セミナー」等の開催や、展示会への出展、研修交流会の開催などを実施する。あわせて、昨年度準備を進めてきた大学生との交流事業「環境と社会～九州環境ビジネス概論～」講座を2か所の大学で開講するとともに、脱炭素経営を推進している企業の販路拡大支援を行う。
- ・ 「3 ASEAN 交流事業」については、引き続き台湾、ベトナム、インドネシアにおける事業展開支援を実施する。支援については、①訪問前の参加企業の動画制作とそれを用いてのオンライン商談、②現地訪問商談、③アフターフォロー商談を順次実施し案件組成を目指す。また、インドネシアについては、昨年度試行した新たな付加価値としての温暖化ガス削減貢献をより現地に情報発信し、商談に活用していく。
- ・ なお、上記の事業については、会費及び以下の委託事業等により実施する。
 - －「カーボンニュートラル貢献企業販路拡大支援業務委託」福岡市 委託事業
 - －「2050年ネットゼロ達成に向けた九州・台湾連携プロジェクト外形成・促進事業」日本台湾交流協会 助成事業
 - －「ベトナムにおける地場企業の海外展開支援業務委託」福岡市 委託事業
 - －「カーボンニュートラル普及啓発事業」九州オープンイノベーションセンター 支援事業
 - －「脱炭素社会構築に向けた九州・インドネシア連携プロジェクト形成・促進事業」貿易・産業協力振興財団 助成事業

2 令和7年度の事業予定〔主なイベント（出展、参加を含む）〕

- ・ 下表のとおり、エコ塾・セミナーの開催（8回）をはじめ、海外ミッションの派遣5回などを行う。また、新事業として近畿大学産業理工学部及び北九州市立大学において、会員企業を講師に「環境と社会～九州環境ビジネス概論～」講座を開講する。 ※ 下線は新規事業

No.	月	日	件 名 (注)1	事業区分		費用区分	
				(2) 事業 (注)2	(3) 事業 (注)2	会費 事業	委託 事業 (注)3
①	4	8	近畿大学産業理工学部との交流事業開始（講座 15 回、7/29 迄）	○		○	
②	4	9	北九州市立大学との交流事業開始（講座 15 回、7/23 迄）	○		○	
③	5	22	第 151 回エコ塾「よくわかる GX2040 ビジョン第 1 回 GX2040 ビジョンの概要と資源循環取り組み事例」※	○		○	
④	5	29	温室効果ガス排出削減貢献勉強会～脱炭素で狙うインドネシア市場～※		○		○
⑤	6	19	総会 記念講演※	○		○	
⑥	7	2	エコテクノ 2025 出展（7/2～4@西日本総合展示場）	○		○	
⑦	7	3	第 152 回エコ塾「よくわかる GX2040 ビジョン第 2 回 排出量取引と北九州における GX の取り組み」※	○		○	
⑧	8	8	インドネシア「IJB Net 7 周年記念イベント」出席、プレゼン		○		○
⑨	9	中旬	第 153 回エコ塾「よくわかる GX2040 ビジョン第 3 回」※	○		○	
⑩	10	15	モノづくりフェア 2025 出展(10/15～17@マリンメッセ福岡)	○			○
⑪	10	22	VIETWATER2025/ホーチミン市における商談(10/22～24)		○		○
⑫	10	29	台湾ミッションの派遣(展示会出展&マッチング、10/29～31)		○		○
⑬	11	上旬	研修交流会	○		○	
⑭	11	中旬	地域脱炭素の実現に向けた地方公共団体と企業とのマッチングイベント出展	○			○
⑮	11	中旬	第 154 回エコ塾※	○		○	
⑯	1	中旬	ベトナムミッションの派遣		○		○
⑰	2	上旬	第 155 回エコ塾※	○		○	
⑱	2	中旬	カーボンニュートラル貢献企業販路拡大支援業務委託 成果報告会※	○			○
⑲	2	下旬	インドネシアミッションの派遣		○		○
役員会など	6	19	第 1 回役員会			○	
	6	19	令和 7 年度 総会			○	
	11	下旬	第 1 回企画部会			○	
	2	下旬	第 2 回企画部会			○	
	3	下旬	第 2 回役員会			○	

(注)1 件名欄の※付はオンライン配信予定のイベント。

2 (2)事業は「情報提供&マッチング事業」を、(3)事業は「ASEAN 交流事業」をそれぞれ示す。

3 委託事業は現在申請中のものを含む。不採択の場合、計画変更の可能性あり。

3 令和7年度事業目標等

個別事業における目標

		目 標	備 考
エコ塾	開催回数	5 回	
大学生との交流事業	近畿大学	講座 15 回	15 回目まで適切にサポート
	北九州市立大学	講座 15 回	同 上
研修交流会	開催回数	1 回	
展示会	出展回数	3 回	
カーボンニュートラル貢献 企業販路拡大支援業務委託 〈福岡市委託事業〉	展示会出展 機会の提供	2 回	・ 参加企業 10 社以上
	ビジネス マッチング支援	2 回以上	
2050 年ネットゼロ達成に向けた 九州・台湾連携プロジェクト 形成・促進事業 〈(公財)日本台湾交流協会助成事業〉	商談会 商談回数	3 回/社	・ 参加企業 6 社(予定)
	展示会 商談回数	6 回/社	
ベトナムにおける地場企業 の海外展開支援業務委託 〈福岡市委託事業〉	ビジネスマッチング 候補企業発掘	8 社以上	・ 参加企業 4 社(福岡市にて選定) ・ オンライン商談は訪問前 8 回、フォローアップ 24 回。
	オンライン 商談回数	32 回	
脱炭素社会構築に向けた九州・インドネ シア連携プロジェクト形成・促進事業 〈(一財)貿易・産業協力振興財団 助成事業〉	削減貢献量算 定支援・周知	勉強会 1 回 現地プレゼン 1 回	・ 参加企業 8 社(予定)
	オンライン 商談回数	20 回	
	現地 商談回数	10 回	

【参考】令和7年度の事業目標

事業目標指標	数値目標	〔参考〕6 年度実績
新商品・サービスの創出(着手)数	30 件以上	30 件
売上額	4 億円以上	4.57 億円
業務提携・取引成約数	50 件以上	40 件

※ 会員アンケート及び K-RIP の支援を受けた会員へのヒアリングをもとに集計

II 個別事業の概要

1 メディアミックスによる情報発信事業

(1) ホームページやメルマガを活用した情報発信

- ・ K-RIP 事業の案内・募集や国の環境エネルギー施策・補助金などの事業支援制度、各団体のイベント情報等について、ホームページやメルマガで発信する。あわせて、会員間のマッチングの一助とするため、新入会員の情報などをホームページやメルマガで発信する。

(2) YouTube の活用

- ・ YouTube に開設している「K-RIP World Channel」に、会員企業の事業紹介動画（現地語で制作）を掲載し海外企業との商談に活用するとともに、エコ塾のアーカイブ配信など K-RIP 事業の情報提供に YouTube の活用を検討、実施する。

2 情報提供&マッチング事業

(1) 会員からのご相談・マッチングへの対応

- ・ 会員からの新事業創出や販路拡大、脱炭素推進等に関するご相談に応じるとともに、会員からのマッチング相手の紹介要望に丁寧に対応していく。

(2) エコ塾の開催

- ・ エコ塾については年5回開催し、第151～153回は「よくわかる GX2040 ビジョン」として、九州経済産業局と共催で同ビジョンの解説や事例紹介等を行う。そのうち、7月3日開催の第152回については、北九州環境ビジネス推進会と共催で北九州市西日本総合展示場「エコテクノ 2025」において開催する。加えて、会員相互の交流やマッチング支援を目的に、会員企業の事業紹介プレゼンを中心としたエコ塾を検討、開催する。

「エコ塾」開催スケジュール及びテーマ（案）

（敬称略）

第151回【R7.5.22】	よくわかる GX2040 ビジョン 第1回 ～GX2040 ビジョンの概要と資源循環取り組み事例～	参加者 89 人 （会場 44 人、オンライン 49 人）
経済産業省 九州経済産業局	資源エネルギー環境部 次長 西下 尚樹	「GX2040 ビジョン」及びサーキュラーエコノミーの実現に向けた取組について
パナソニックマーケティング ジャパン(株)	ダイレクト事業戦略室 新規事業推進部 部長 渡邊 暦	資源循環経済に向けた CE コマースの取り組みについて
倉敷紡績(株)	繊維業務部 繊維企画課 マーケティング担当 萩本 千夏	廃棄衣料を新たな資源に！クラボウの アップサイクルシステム「L∞PLUS」の取組み
田中鉄工(株)	サステナブル戦略室 Executive 陣内 太	地域とともに循環型社会に貢献し、 カーボンニュートラルを実現する
(株)リサイクルテクノロジーズ	代表取締役 CEO 直江 誠治	学校を拠点とした家庭の廃食用油リサイクル プロジェクト
福岡市	経済観光文化局	カーボンニュートラル貢献企業への販路拡大 支援策のご紹介
第152回【R7.7.3】	よくわかる GX2040 ビジョン 第2回 ～排出量取引と北九州における GX の取組み～	〈参加者 募集中〉
脱炭素成長型経済構造移行推進機構 （通称：GX 推進機構）	理事 梶川 文博	GX 実現に向けた GX 推進機構の役割と機能
Carbon EX (株)	Co-CEO 陰山 貴之	GX-ETS 時代におけるクレジットの重要性和 企業がとるべき戦略
北九州市 産業経済局	未来産業推進部 未来産業推進課 GX 推進担当係長	北九州市における GX の取り組みについて
(株)新菱	サーキュラーエコノミー事業部門 企画管理本部企画部 佐藤 佑樹	太陽光パネル大量廃棄時代に向けた熱分解 リサイクルによる GX 実現
経済産業省 九州経済産業局	資源エネルギー環境部 資源エネル ギー環境課 課長補佐 本田 剛士	中小企業の GX 推進に向けた支援施策を ご紹介します

	時 期	テーマ(案)
第 153 回	9 月中旬	「よくわかる GX2040 ビジョン第 3 回」
第 154 回	11 月中旬	今後検討
第 155 回	2 月上旬	会員企業事業紹介デー(案) … オンライン開催

(3) 人材育成事業

① 大学生との交流事業 新規

- ・ 会員企業及び大学生に以下の機会を提供するため、近畿大学及び北九州市立大学の協力のもと、九州の環境産業の最新動向等を提供する講座「環境と社会～九州環境ビジネス概論～」を、会員企業を講師に開催する。
 - － 会員企業：企業の認知度向上・PR
 - ：大学生との繋がりの機会提供（リクルートに向け学生のなじみの企業となる）
 - － 学 生：カーボンニュートラルや九州の環境産業に対する理解促進
 - ：社会・企業の実情を知る機会の提供

講座の概要

	学校法人 近畿大学	公立大学法人 北九州市立大学
学 部	産業理工学部	国際環境工学部
場 所	福岡キャンパス（飯塚市）	ひびきのキャンパス（北九州市若松区）
日時/回数	4/8～7/29、90 分/回×15 回 火曜日 2 限目：11:00～12:30	4/9～7/23、90 分/回×15 回 水曜日 3 限目：13:00～14:30
年次/履修登録数	2、3 年生/27 人	3 年生/76 人
科目/単位	共通教養科目/2 単位	生理学/2 単位
講座名	環境と社会 ～九州環境ビジネス概論～	
講 義 内 容	九州の環境ビジネスの最新動向について、行政機関やシンクタンク、 会員企業の第一線で活躍する講師から実例を通じて学ぶカリキュラム ※ 基本構成：企業紹介、事業研究 …………… 70 分 質疑応答、小テスト、レポート … 20 分	
講 義 (講 師) 予 定	① 九州経済産業局 ② 九州経済産業局 ③ (株)野村総合研究所 ④ 九州電力(株) ⑤ 清本鉄工(株) ⑥ トータルケア・システム(株) ⑦ (株)サニックスホールディングス ⑧ (株)正興電機製作所 ⑨ (株)ワイビーエム ⑩ (株)ウエルクリエイト ⑪ (株)寺田鉄工所 ⑫ (株)アグリツリー ⑬ (株)くりんか ⑭ 福岡市 環境局 ⑮ 担当教授によるまとめ	九州経済産業局 九州経済産業局 (株)野村総合研究所 九州電力(株) 清本鉄工(株) トータルケア・システム(株) (株)新菱 (株)サニックスホールディングス (株)正興電機製作所 (株)ワイビーエム (株)ウエルクリエイト (株)くりんか (株)アグリツリー 北九州市 環境局 担当教授によるまとめ

② 研修交流会の開催

- ・ 会員の若手人材の育成及びネットワーク構築の一助として、研修交流会を開催する。
日 時：令和7年11月上旬予定
テーマ：今後検討

(4) カーボンニュートラル貢献企業販路拡大支援業務委託 新規 〈福岡市 委託事業〉

- ・ 福岡市内の脱炭素経営に取り組む中小企業を対象にその販路拡大を支援することにより、脱炭素経営が受注拡大や業績向上となりうる事例を創出し、ひいては地場中小企業の脱炭素経営の取組みを加速化させることを目的とする。
- ・ 具体的には、「福岡市カーボンニュートラル貢献企業」として脱炭素経営に取り組む企業を募集し、展示会出展機会の提供やマッチング商談会の開催等を行い、参加企業の販路拡大を支援する。

(5) 展示会への出展

① エコテクノ 2025 への出展

- ・ 7月2日～4日、北九州市の西日本総合展示場において開催される「エコテクノ 2025」に、出展希望の会員※を募り共同出展する（協力：（公財）北九州観光コンベンション協会）。あわせて、同会場においてエコ塾を開催（共催：北九州環境ビジネス推進会）し、北九州地区の会員の相互交流・ネットワーク形成やK-RIPの認知度向上を図る。

※ 出展する会員企業：(株)アグリツリー、(株)九州ハイテック、東京産業(株)、(株)寺田鉄工所

② 地方公共団体と企業とのマッチングイベントへの出展

- ・ 毎年11月に開催されている「地方公共団体と企業とのマッチングイベント」に、九州経済産業局及び会員企業等とともに出展し、参加の地方公共団体等に会員企業やK-RIP等の事業紹介を行い、今後の連携について働きかけを行う。

(6) 総会・記念講演、役員会、企画部会の開催

- ・ 総会・役員会・企画部会において、事業計画や予算、事業の進捗状況、K-RIP事業の方向性等を審議するとともに、環境エネルギー等に関する最新動向等を提供する総会・記念講演を開催する。

令和7年度「総会・役員会・企画部会」開催（案）

	時 期	議 案
総 会	6月19日	6年度事業報告・決算、7年度事業計画・予算、役員選任 等
役員会①	6月19日	総会議案の審議
役員会②	3月下旬	7年度事業報告・決算見通し、8年度事業計画・予算 等
企画部会①	11月下旬	7年度の事業進捗状況、自由討議 等
企画部会②	2月下旬	7年度事業報告・決算見通し、8年度事業計画・予算等

令和7年度総会「記念講演」

演 題：シナリオ分析で脱炭素社会に向けた経営課題を考える

講演者：日本銀行 金融機構局国際課 企画役

竹山 梓 氏

3 ASEAN 交流事業

(1) 台 湾

① 2050 年ネットゼロ達成に向けた九州・台湾連携プロジェクト形成・促進事業 新規

〈(公財)日本台湾交流協会 助成事業〉

- ・ 昨年度の「台湾現地調査ミッション」をはじめ、これまでの現地企業・政府関係機関と繋がりを活かし、さらに具体的成果に繋げるため、九州の循環型経済関連企業と台湾を訪問し、展示会出展及びマッチングの支援を行う。
- ・ 具体的には、訪問前に現地コーディネーターが、参加企業の事業紹介動画を活用し商談候補となる現地企業とピックアップした上で、10月29日～31日に台北市で行われる「Net-Zero Taiwan (台湾国際ネットゼロ見本市)」に合わせ訪問。参加企業は同見本市に出展するとともに※、ピックアップした商談候補企業との商談を実施し、案件組成を目指す。

※ 参加企業の展示会出展費用・通訳料等については助成金にて負担。

(2) ベトナム

① ベトナムにおける地場企業の海外展開支援業務委託

〈福岡市 委託事業〉

- ・ 昨年度に引き続き、福岡市内のグリーンテック関連企業（資源や環境の保護に資する製品や技術、サービス等を有する企業）の海外展開を支援するため、10月22日～24日にホーチミン市で開催される「VIETWATER 2025」にあわせて参加企業と現地を訪問し、現地企業とのビジネスマッチングを実施する。
- ・ 本事業については、今年度で3年目を迎えることから、これまでの経験を活かし、訪問前のビジネスモデルの検討や、オンラインでの現地企業と事前商談を十分行い、「VIETWATER 2025」での商談において多くの案件を組成できるよう支援する。あわせて、帰国後のフォローアップ商談等を適切に行いさらなる案件組成を目指す。

② 「カーボンニュートラル普及啓発事業」ベトナムミッションの派遣

〈(一財)九州オープンイノベーションセンター 支援事業〉

- ・ これまでのベトナムとの交流や上記①の福岡市委託事業で積み上げた現地企業・政府機関と繋がりを活かし、さらに具体的成果に繋げるため、1月中旬に九州域内の循環型経済・農業関連企業とベトナムを訪問する。
- ・ 今年度は、これまでのホーチミン市及びダラット市に加え、新たにベトナム第5の都市で水産養殖の盛んなカントー市（南部メコンデルタ最大都市）をターゲットに、水処理やファインバブル関連の会員企業の案件組成について支援する。

(3) インドネシア

① 脱炭素社会構築に向けた九州・インドネシア連携プロジェクト形成・促進事業

〈(一財)貿易・産業協力振興財団 助成事業〉

- ・ 脱炭素関連分野の技術を有する九州域内企業のインドネシアにおける事業展開を支援するため、訪問前に温室効果ガス削減貢献及びインドネシア市場を学ぶ勉強会を開催するとともに、現地コーディネーターが参加企業の事業紹介動画を活用し選定した現地企業とオンライン商談を行った上で、2月下旬に現地を訪問し商談を行う。
- ・ あわせて、昨年度から試行している参加企業の温暖化ガス削減貢献量の算定及び商談への活用を継続するとともに、こうした取り組みを現地の政府機関や企業に周知するため、8月8日に現地で開催される「IJB Net 7周年記念イベント※」に出席しプレゼンを行い、2月下旬訪問時の案件組成につなげる。

※ IJB Net (Indonesia-Japan Business Network) は、2018年に元日本留学生を中心に発足した民間非営利組織で、国内に10以上の支部を置くなど全土をカバーするビジネスネットワークを構築。IJB Netの周年イベントは、様々な業界団体と共催され、インドネシア経済調整省、日本国大使館、BRIN(インドネシア研究イノベーション庁)、JICA、JETRO等の後援で開催されている。

「温室効果ガス削減貢献勉強会～脱炭素で狙うインドネシア市場～」の開催概要

日 時	令和7年5月29日(木) 14:30～17:00
場 所	オンライン開催
参加者	41名
内 容 (敬称略)	第1部 基本を学ぶ 14:30～15:20 「温室効果ガス排出削減貢献量の可視化とビジネスへの活用について」 アスエネ(株) 営業本部 マネージャー 岩淵 圭祐
	第2部 海外の現状を学ぶ 15:20～16:20 「インドネシアのカーボンニュートラルに向けた取組とビジネス機会」 IJB-Net/Indonesia-Japan Business Network 幹事長 サリム ムストファ 「インドネシアの脱炭素化に関する現状とJETROの取組について」 日本貿易振興機構(JETRO) ジャカルタ事務所 次長 高田 尚
	第3部 展開手段を学ぶ 16:20～17:00 「インパクトファイナンスが可能にする脱炭素の推進」 Digital Climate Japan(株) CEO 岡澤 恭弥 「九州経済産業局の海外展開支援策について」 九州経済産業局国際部経済交流促進課海外展開支援室 山下 莉奈

4 財政基盤の確保に向けた取組み

- ・ 「2022年度中期活動計画」で示した財政基盤の確保に向けた取組みを着実に実施する。
また、会員への一層の支援及び事業量の拡大に向けて、マネージャー・事務職員の増員に加え、将来的な法人格の取得等について検討する。

【財政基盤の確保に向けた取組み】

- ① 会費収入増対策の実施
 - ・ 新規会員の獲得に向けた活動の展開 等
- ② 新たな外部の委託事業等の獲得への取り組み
- ③ 会員の意見(声)を伺うコミュニケーション活動の充実

以 上